

ひなたぼっこ通信

2018年
9月号

ケアハウスから

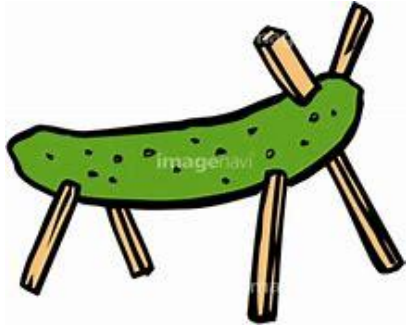
「お盆」1階

お盆とは、正式には「盂蘭盆(うらぼん)」といい「ウランバナ」というインドの言葉からきたといえます。餓鬼道におちてしまった亡者のために仏事を行って、その苦しみを取り除くのが本来の意味です。日本では、先祖の霊があゝの世から戻ってきて、また帰ってゆくという、古来の信仰と仏教の行事が結びつき、全国に広まって今日に至っています。

「先祖様をお迎えするにあたり、お墓の掃除をして盆棚を作りお供えをします。」

13日にはお寺の坊様がお経をあげにみえ、玄関先では「かんば」を焚いて迎え火としてご先祖様をお迎えます。昔は家族親戚が、皆集まり賑わったものですが、我が家では私人がお迎えるため、ご先祖様には申し訳なく思います。

お盆のごちそうと言えはトウモロコシ・スイカ、あとは枝豆をぶかしてすり鉢ですり、お湯



でとろみを調節し、砂糖と塩で調整したもの(ぬた)をご飯にかけていただきます。子どもの頃よく食べました。

16日には送り火を焚いてご先祖様にお帰り頂き、お盆が終わります。

毎年同じことの繰り返しですが、ご先祖様に感謝をし、できる限り続けていきたいと思っています。

(5)

「夏のコンサート」2階

お盆休みも終わり、時には肌寒さを感じることもある季節になってきました。

8月17日にケアハウスでは恒例の「夏のコンサート」が行われました。ケアハウスの利用者様をはじめ、宅幼老所やグループホームから、あるいは地域の人も集まってくださいました。そのたくさんの人たちの前で、ピアノ・フルート・ハープなど、美しい音色の演奏が響き渡りました。

コンサートの中では、皆さんが知っている曲の演奏もありました。その演奏に合わせて利用者の方々が大合唱する様子はとても迫力がありました。後半には、みんなも知っている、そして演者もお気に入りという曲が披露されました。平原綾香さんの「明日」、朝ドラ「半分、青い」の主題歌で星野源さんの「アイディア」などです。

クラシックから最近の曲まで、幅広い世代も楽しめる素敵なコンサートで、スタッフまでうれしくなりました。(5)

宅幼老所から

「浜辺のハイビスカス」

夏の暑さも和らぎ、季節の移り変わりを感じる頃となりました。宅幼老所では季節に応じた作品を制作しています。今回は夏をテーマにした作品を紹介したいと思います。

南国の浜辺に色とりどりのハイビスカスをたくさんあしらった作品です。砂浜には3人のフラガールがフラダンスを踊っていてとても可愛いです。青い海! 白い砂浜! とても夏らしい作品ですね。

制作は1日では終わらないので主に午前中12時と作っています。ご利用者様の中には若い頃に裁縫などの仕事をしていた方などいて、皆さんとても器用に作ってくださいました。

今後まだまだ季節を感じる作品を作り続けていきます!



グループホームから

「南原山の長持ちだあー!」 1階

富士見高原にこんな暑さがあったのでしょうか。避暑地だった富士見も暑い日がまだまだ続いています。そんな中、毎年恒例南原山の長持ちの皆さんにお越し頂きました。めったに見られない長持ち。午睡している皆さんに「長持ちがきますよー」と声掛けをしました。まだ眠そうに起きる方もいらっしまいました。外に出ると満点の笑顔です。今年は暑すぎてなかなか外に出られませんでしたが、



少し涼しくなった外の空気を吸い、心地良さを感じていると、八ヶ岳を背景に華やかで優雅な長持ちがお目見えしました。披露して頂いた後、福を呼び長持ちのおかげと記念撮影です。受け伝えられてきた伝統的長持ちに「こんな事してもらって有り難いなあ。」「いっつになく素晴らしい!」と感無量の皆さんでした。

「窓から見える・・・工事が楽しみ」2階

グループホーム2階の窓から放課後等デイサービスの工事現場がよく見えます。ご利用者様が多くが、日に日に

進む工事の様子

を楽しみにされています。なか

には、窓際に置

かれた椅子にす

わり、午前中、

ずっと眺められ

ている方もいま

す。「今日は、

こんな機械が来

た・土台だ・

基礎ができた」

などなど話題に

なります。8月中旬に建物の骨組みができて「ど

んな建物になるのかねえ」とか、「できたら行っ

てみたいねえ」と、工事の完成へとわくわされて

います。とても、よく見えます・・・ぜひ、グル

ープホーム2階にお越しください。

放課後等デイサービスから

「夏休みが終わった」

夏休みの放課後等デイサービスは、場所を移し

て活動したということは前回もお知らせしました

ここではプールの様子や、JRに乗ってのお出か

けなどの様子を紹介いたします。午前中の学習時間や

外出を経て、お楽しみのお弁当タイムが昼過ぎに

は始まります。リビングのテーブルや和室の座卓

など、思い思いの場所にお弁当を広げて食べまし

た。ゆっくり楽しんで食べると思いきや、子ども

達はお弁当を食べるのが速いのです。特に男子。



あつという間にお弁当を平らげた子ども達は、これもあつという間に着替えてプールに向かうのでした。2メートル×4メートルのプールは、子どもには結構大きいようです。顔を付けて泳ぐ子、投げ込んだ水鉄砲で遊ぶ子、様々です。でも、どの子も嬉々とした表情です。中には、見守るスタッフに手招きをして、近づいたところを見つらつて思い切り水をはねかしたり、水鉄砲で水をかけたりして大笑いする子もいました。

みんな上がったところに「じゃあ」と水着に着替え始める子どももいます。

みんなが水からあがり、DVDの時間が始まります。トーマスやトムとジェリーなどが人気でした。あ、お出かけを紹介するスペースがなくなってしまう。では、次回にJRのお出かけ編を紹介することにしよう。お楽しみに。



理事長 森 正明

T 3999-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336